

デザイン・プロセス・動画監修 / 米永真由美

【出来上がりサイズ】※置き寸 丈：約 78cm

※ウエストはゴムの長さで調整できます



### 【用具】

\*あると便利な用具\*

・ぬいしろに切り込みを入れる時などに  
**36-666** カットワークはさみ 115  
<https://clover.co.jp/products/36666>

・間違えた縫い目をほどく時に  
**21-511** N- リッパー  
<https://clover.co.jp/products/21511>

・角(かど)出しの時に  
**21-131** N- なめらか目打  
<https://clover.co.jp/products/21131>

・製図の時に  
**39-211** ファブリックウェイト  
<https://clover.co.jp/products/39211>

・長い直線を描く時にも  
**25-204** まんまるメジャー  
<https://clover.co.jp/products/25204>

★型紙やチャコピーを切るための紙を切るはさみ

布を切るはさみで紙を切ると、切れが悪くなったりするため、布切はさみと紙切はさみは分けてください。

**25-052** 方眼定規 〈50cm〉  
<https://clover.co.jp/products/25052>

**21-041** N- ソフトルレット  
<https://clover.co.jp/products/24041>

**24-153** クロバーチャコピー両面 〈黄〉  
<https://clover.co.jp/products/24153>  
※グレー・白・青・ピンクもあります

**24-412** 水性チャコペン 〈青・細〉  
<https://clover.co.jp/products/24412>

**36-191** 布切はさみ「ブラック」  
<https://clover.co.jp/products/36191>

**22-735** シルク待針 〈耐熱〉  
<https://clover.co.jp/products/22735>

**57-702** マグネットピンクッション  
<https://clover.co.jp/products/57702>

**36-395** 糸切はさみ「ブラック」(黒刃)  
<https://clover.co.jp/products/36395>

**25-057** アイロン定規  
<https://clover.co.jp/products/25057>

**37-188** ぬいしろガイド  
〈位置決めプレート付き〉  
<https://clover.co.jp/products/37188>

### 【材料】

生地：1.7m(110cm 幅)  
ミシン糸  
ゴムベルト (20mm 幅)

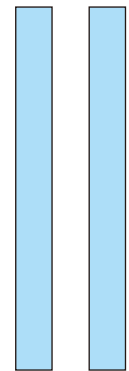
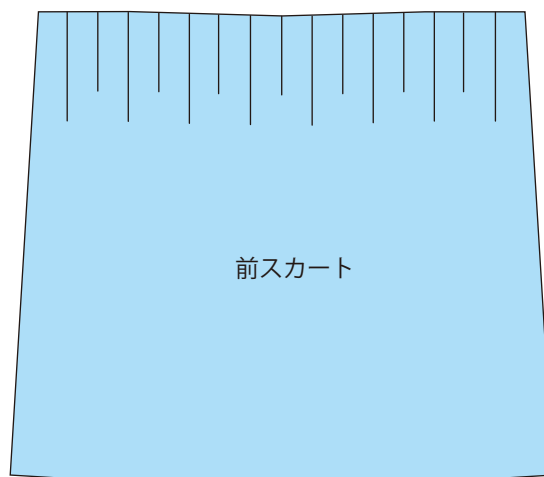
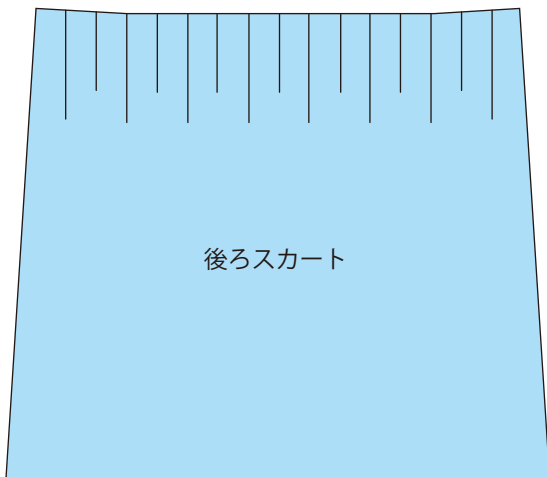
・製図の時に。ロールタイプで使いやすいハترون紙

**39-321** ハترون紙ロールタイプ 〈7m 巻〉  
<https://clover.co.jp/products/39321>

### 【作り方】

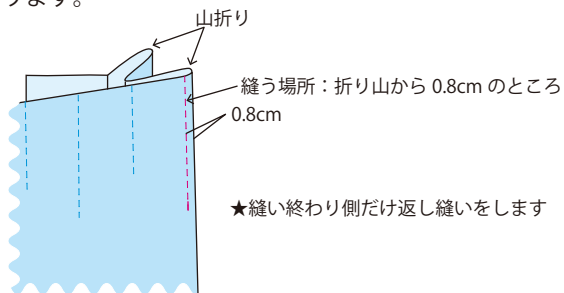
#### 1 製図と裁断、しるし付け

型紙作り、裁断までの準備は「型紙の作り方」と「裁断の方法」PDF をご覧ください。  
裁断するときは、生地とはさみは持ち上げずに切ってください。



## 2 ピンタックを縫う

あらかじめ付けておいたしるしを“山”になるようにアイロンで折ります。



0.8cm 幅でピンタックを縫います。  
ぬいしろガイドには 0.8cm の目盛がありませんので、  
・0.7cm の目盛で位置決めプレートをセットし、1mm プラスした位置にぬいしろガイドをセット  
または、  
・定規をあてて 0.8cm を測る方法でセットします。

※この作品では、できあがり線を描いていませんので、縫う時は「ぬいしろガイド〈位置決めプレート付〉」を使います。



縫い終わり側だけ返し縫いをし、ピンタックが縫えたら、縫い目から右側に折り、アイロンでしっかり倒します。

スカートの中心とベルトの中心に、小さな切れ目を入れておきます(中心の合印)。

### ★タックの端の糸始末

タックの縫い終わり側を糸始末しておく、ほつれてくるのを防げます。

糸始末をするためには、糸は長めに残しておきます。

#### 【糸始末の方法】

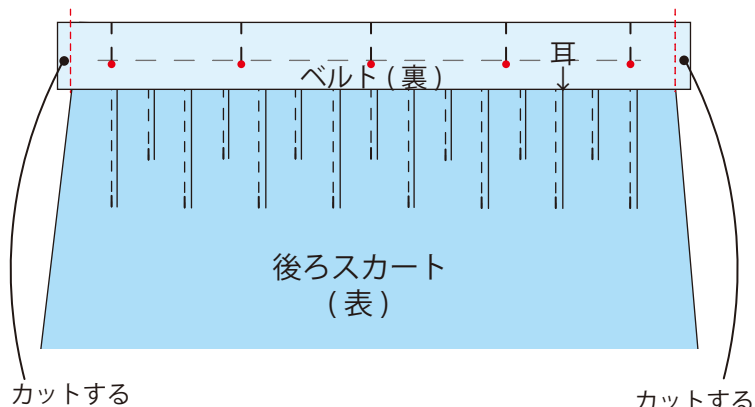
- ① 奥(ピンタックの表)側に出ている糸を、目打を使って手前(ピンタックの裏)側に引き出す。
- ② 2本一緒に束ね、目打で玉結びの根元を押さえながら結ぶ。
- ③ 糸端を2本一緒に縫い針に通し、タックの空間に隠すように通す。
- ④ 少し引っ張ると玉結びがタックの中に隠れるので、2～3cm くらい先から針を出し、残った糸を切る。



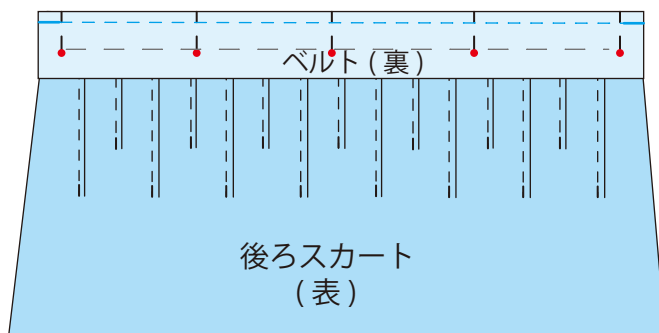
※詳しいやり方は、動画で確認してください。

## 3 ベルトとスカートを縫い合わせる

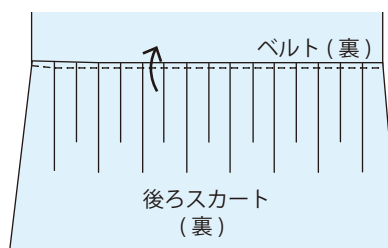
- ① ベルト布とスカートを待針でとめる  
ベルト布を半分に折ってアイロンで折り型を付けてから、スカートと中表にして待針でとめます。  
待針でとめる時、生地「耳」は下側にします。  
ベルトは長めに設定してあるので、左右の端からはみ出した分はカットします。



- ② ベルト布とスカートを縫い合わせる  
縫い始めと縫い終わりは返し縫いをします。



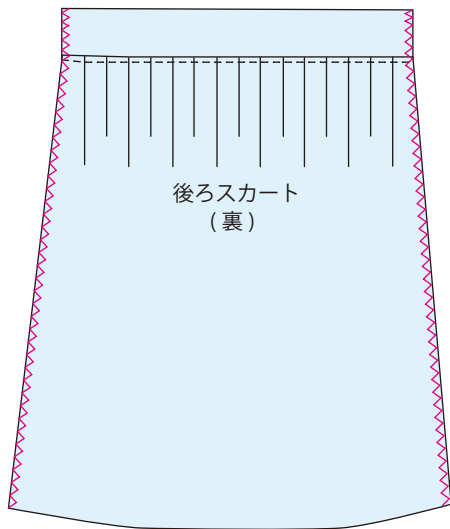
- ③ ぬいしろの処理



ぬいしろはアイロンで整ってから上(ベルト側)に倒します。

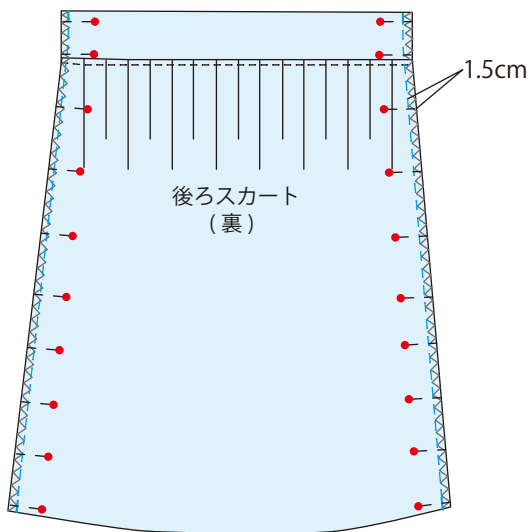
#### 4 前後スカートを縫い合わせる

①前後スカートの両脇のぬいしろにジグザグミシンをかける



②前後スカートを縫い合わせる

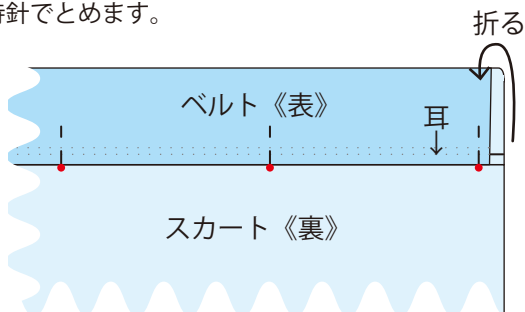
前後スカートを中表に合わせて待針でとめ、端から 1.5cm のところを縫います。  
縫い始めと縫い終わりは返し縫いをします。  
縫い合わせたら、ぬいしろは割っておきます。



#### 5 ベルトのゴム通し口を残して縫う

①ベルトを折って待針でとめる

付けておいた折り型で折ってアイロンで整えてから、耳側を待針でとめます。



②ゴム通し口を 4 cm ほど開けて縫う

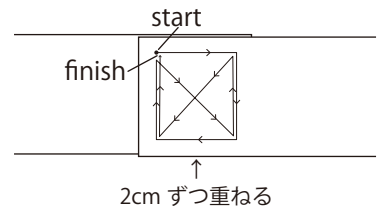
表側から縫います。  
縫いはじめと縫い終わりは返し縫いをします。  
ゴム通し口を縫った時に目立たないように、左右どちらかの脇の縫い合わせ位置から 2 cm ほど空けたあたりから縫い始めます。

③ゴムを通して、ゴム端を下図のように縫い合わせる

ゴムの長さは

ウエストサイズ  $\times 0.9 + 2\text{cm}$

で計算します。



【例】ウエスト 63cm の場合

$63\text{cm} \times 0.9 = 56.7$

プラス 2cm

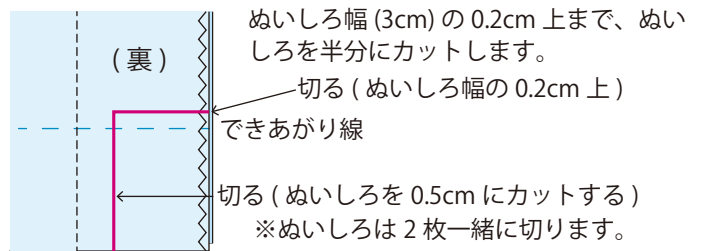
で、58.7cm になりますが、半端なので切り上げて「59cm」用意します。

④ゴム通し口を縫う

ベルトとスカートを縫い合わせた線に重ねるように、表側から縫います。

#### 6 裾の処理

①余分なぬいしろをカットする



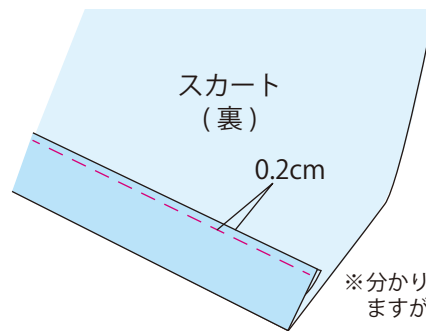
②三つ折りにする

アイロン定規を使って、三つ折りにします。  
まず 3cm 折ってその後 1cm 折り込みます。

10 ~ 15cm おきくらいに、待針でとめます。

③折山から 0.2cm のところを一周縫う

縫い終わりは縫い始めに重ねます。



※分かりやすいように分けて描いていますが、実際は繋がっています。